

## 新世代「スマートフォーツー mhd」を発表

2010年10月12日

- ・ デザイン性と質感の向上
- ・ 環境性能の向上
- ・ 一般保証範囲の拡大

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区)は、最小限のボディサイズで最大限の利便性、快適性、安全性、環境適合性を凝縮したマイクロコンパクトカー「スマートフォーツー mhd」(クーペ/カブリオ)の仕様・装備を充実させたフェイスリフトモデルを、本日より全国のスマート正規販売店を通じ発売いたします。なお、お客様への納車開始時期は11月中旬頃を予定しております。

「スマートフォーツー mhd」は、3mを大きく下回る全長2.72mの超小型ボディにより、道路占有面積、駐車面積の小ささのみならず、「スタート/ストップ機能」の標準装備により、燃費消費量、CO<sub>2</sub>排出量の削減を実現しました。全世界の販売台数は、ヨーロッパでの初代モデル発売以来120万台以上に達しており、販売網は現在、5大陸45ヶ国に広がっています。

今回の変更では、デザイン性と質感の向上、燃費向上、一般保証条件拡充と、スマートの基本思想を妥協することなく継承しつつ、さらに魅力的で環境にやさしいものとなりました。また、車両本体価格については、数々の改良を施しながらも従来から据え置きとしております。

### 新世代スマートフォーツー mhd の特長

#### デザイン性と質感の向上

- 新ボディカラーの設定(全モデルにオプション)  
ライトブルーメタリックとマットライトグリーンのフレッシュな二色を新設定
- ボディカラー塗装範囲の拡大(全モデルに標準)  
フロントバンパー・サイド・リアスカート及び給油フラップをボディ同色に変更
- 新デザイン 15 インチ 6 スポークアルミホイール&ワイドタイヤ(カブリオに標準、クーペはパッケージオプション)  
スポーティで安定感のある足元を演出
- 新デザインダッシュボード&インテリアトリム(全モデルに標準)  
ダッシュボード、エアアウトレット、センターコンソール、メーターパネルのデザインをよりスタイリッシュに変更

## 環境性能の向上

### ➤ 燃費の大幅向上

エンジンマネジメントの最適化などさまざまな改善により、約 2%の燃費向上  
(23.0km/L⇒23.5km/L)と、輸入車として初めて CO<sub>2</sub> 排出量 99g/km を実現

## 利便性を高める新しい実用機能

### ➤ テールゲート操作方法の変更(クーペのみ)

左右いずれかのロックボタン操作でテールゲートを片手でオープン可能

### ➤ シートサイドポケットの追加

折り畳み傘や携帯電話などの収納可能

### ➤ パドルシフト付ステアリングの設定(カブリオにオプション)

ステアリングから手を離すことなくシフトチェンジが可能

## 一般保証範囲の拡大

### ➤ 一般保証の距離制限の廃止

初度登録から 3 年もしくは走行距離 4 万 km



初度登録から 3 年 **走行距離無制限**へ拡大

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格* ( )内は消費税抜き車両本体価格
スマートフォーツー クーペ mhd	右	¥1,840,000 ( ¥1,752,381)
スマートフォーツー カブリオ mhd	右	¥2,130,000 ( ¥2,028,572)

\* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

## スマートについて

全長わずか2.72mのボディの中に独自の走りの喜びと快適性、俊敏性、安全性、環境対応を同時に実現したスマートは、世界45の国や地域で事業を展開しマイクロカー市場を確立するとともに独自のカテゴリーを切り拓いてきました。2008年12月には全車にアイドリングストップ機能を標準装備したほか、2009年からはドイツ・ベルリンでスマート電気自動車の実証テストをスタートし、現在では欧州各国をはじめ北米や日本でも展開しています。スマートはダイムラーにおける環境戦略の重要な役割を担っています。